

JARC 大学・学生・企業をつなぐキャリア情報誌

キャリアのミカタ

2025.Aug Vol.48



**26卒就職支援【6月版】
アンケートから見る就活状況**

26卒就職支援【6月版】

ジェイックアンケートから見る 26卒の就活状況

株式会社ジェイックでは、就職支援サービスにご登録、イベント参加されている学生に対して、定期的に就職活動の状況や学生生活に関するアンケートを実施しています。今回は、2025年6月1日～6月30日に、26卒の学生に対して「就職活動の状況に関するアンケート」を実施した結果をお伝えいたします。

※就職活動に関するアンケート 回答数:432件 期間:2025年6月1日～2025年6月30日

※ジェイック就職支援サービスの登録者には、大学の就職課・キャリアセンター・大学生協経由で登録する学生が多いです。 ※ジェイック就職支援サービスに26卒で登録している学生を対象としております。

●6月時点での内定取得率は**21.3%**

3月時点では11.1%でした。ジェイックイベント参加者においては就職活動をスタートしたばかりの学生が多いです。

●6月時点での選考中の企業数**3社以下が77.9%**

「エントリーシートを出している」「面接を受けたことがない」という学生が半分以上となっています。

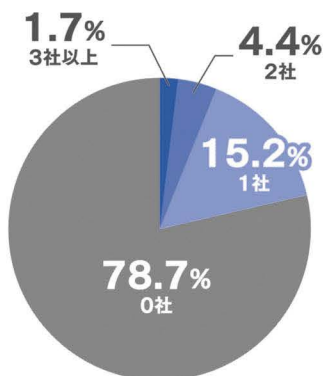
●就職活動の悩み1位は「面接対策・面接での課題」が**48.4%**

「面接が苦手」「面接に自信がない」「面接に慣れていない」「面接の練習がしたい」など面接そのものに対する不安や経験不足を訴える声が非常に多いです。

6月時点での内定取得率は

21.3%

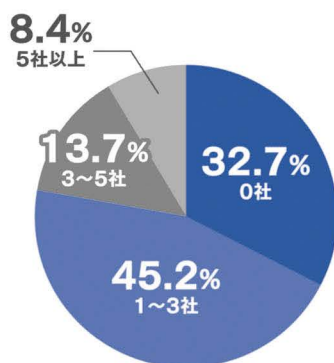
内定社数はいくつありますか?と質問したところ、0社という回答が78.7%でした。ニュースなどでは、学生の内定率が年々高まっていると話題になっていますが、ジェイックの就職イベントに参加される学生については、まだまだ就職活動を始めたばかりという人が多く、就職活動初期の学生支援の意義を感じる結果となりました。



選考中の企業数は

3社以下が77.9%

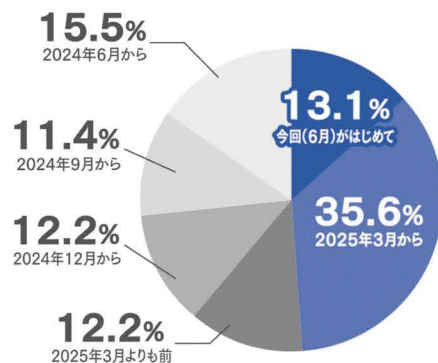
ジェイックの就職イベント以外に現在選考中の企業はありますか?という質問については、3社以下の回答が77.9%となり、就職活動については、これからが本番というような学生が多く見受けられました。特に、選考が0社という学生も32.7%となり、就職活動フェーズもエントリーシートを数社出している、今回が初めて(面接を受けたことがないなど)という回答も多いです。



就職活動開始時期は

2025年3月以降が48.7%

就職活動を始めた時期を教えてください(一番近いものを選んでください)と質問したところ、2025年3月以降に開始した学生が48.7%となりました。また今回(6月)のイベントがはじめての就職活動という学生も13.1%となっています。一方で、大学3年生の夏秋(24年6月、9月)から動いている学生も26.9%となり、1年近く就職活動をしている方も参加しております。



あらためて、2026年卒の主要な内定率調査を見ると、6月1日時点での内定取得率は軒並み70%を超えています。

●インディードリクルートパートナーズ「就職プロセス調査」2026年卒6月1日の内定率(大学院生除く):81.6%

●マイナビ「2026年卒 大学生キャリア意向調査」2026年卒5月末の内々定率:77.1%

これらの数値と比較すると、ジェイックのイベント参加者の内定取得率21.3%と低い水準にあり、ジェイックとしては、就職活動の初心者学生に向けたサポートの必要性をより感じる結果となりました。

就職活動の悩み1位は「面接対策・面接での課題(48.4%)」

※複数回答可

「現在の就職活動の悩みを教えてください(例:履歴書の自己PRが書けない)」と質問し、回答をカテゴライズしました。悩みの第1位は面接対策や面接での課題となりました。ここでは第5位までの内容と、その具体的なコメントについてお伝えいたします。

第1位	面接対策・面接での課題(48.4%) 多くの学生が面接に対して不安や課題を抱えています。実践的なスキル不足や心理的な側面での悩みが顕著です。「面接が苦手」「面接に慣れていない」「面接経験が圧倒的に少ない」「緊張してしまい、言いたいことが頭にあるのに言えない」「言葉に詰まってしまう」「うまく内容をまとめて話せない」「自分の熱意の伝え方が難しい」「深掘り質問に対してどこまで答えればよいかかわからない」「逆質問に苦戦」「一次面接がなかなか通過しない」「二次面接以降を通過できない」「最終面接が突破できない」
第2位	内定・キャリアに関する悩み(18.8%) 内定の有無だけでなく、内定取得後の進路選択や将来のキャリアプランに対する悩みが浮上しています。「内定がない」「なかなか内定が出ない」「納得内定ではないから、自分の納得いく就職先を探したい」「現在内定が決まっている企業で本当に自分がいいのか、自分でも判断が難しい」「内定先よりも良い企業を探したい」「いつまで就職活動を継続するかが悩み」「就職するか進学するか悩んでいる」「やりたいこととできることの乖離を感じる」
第3位	企業・業界研究・就活軸の悩み(13.3%) 自身の適性や将来の方向性が見えず、企業選びや志望動機の言語化に苦戦している学生が多いです。「自分に合う企業が見つからない」「良い企業が見つからない」「就活の軸が定まっていない」「やりたいことが見つからない」「志望業界が定まっていないので企業を絞りきれない」「志望動機がうまく書けない」「企業にマッチさせた良い文章が思いつかない」「企業研究のやり方が難しい」「同業他社との比較ができていない」
第4位	書類作成・適性検査の課題(11.0%) 就活の初期段階で必要となる書類作成や、適性検査の突破に課題を感じている学生もいます。「履歴書の自己PRが書けない」「ガクチ力が書けない」「自己PRに書く内容が難しい」「ESが通らない」「ESで企業固有の質問が答えられない」「Webテストもどう勉強しても苦手で、そこで落とされることが多い」「適性検査でのお見送り」
第5位	全体的な不安・進め方(7.3%) 就職活動全体に対する漠然とした不安や、何から手をつけて良いかわからないといった、全体像が見えていない段階での悩みも挙げられました。「何から手をつければ良いのか分からない」「就活のスタートが遅れてしまい、何をすればいいかわからない」「就活の進め方が今のままでいいのか不安」「どの時期に何をしないといけないかのざっくりとした卒業までの道筋を把握したい」「就職活動に不安を感じている」「焦りがある」「就活のモチベーションが上がらない」「就活と学校の日程がごちゃ混ぜで忙しい」「中々自分から動くことができない」

ジェイックでは3月にも同様の質問をしています。3月も6月も共通して上位に挙がったのは「面接対策・面接での課題」でした。これは、就職活動における面接の重要性と、多くの学生にとって依然として高いハードルであるという認識が時期を問わず一貫していることを示しています。ただ、その悩みの中身は時期によって異なります。

3月の時点では、面接経験が少ないことからくる漠然とした「面接への不安」や「何を話せば良いかわからない」といった悩みが中心でした。これは、本格的な選考解禁を前に、就活の基礎を学び始めたばかりの学生が多かったためと考えられます。対して6月の調査では、面接への不安は引き続き高いものの、「緊張して言葉に詰まる」「深掘り質問への対応」「一次面接が通過できない」といった、より具体的な選考過程での課題へと変化しています。これは、多くの学生が実際に選考に臨み、場数を踏む中で、自身の具体的な弱点や、次

のステップに進む上での障壁が明確になってきたためだと考えられます。

また、3月には「ES・履歴書がうまく書けない」「自己PR・ガクチ力が思いつかない」といった書類作成の基礎に関する悩みが上位を占めていましたが、6月になるとそれらの割合は相対的に減少しました。一方で、6月には「内定・キャリアに関する悩み」が浮上してきました。これは、周囲が内定を獲得し始める中で、未内定の学生が強い焦りを感じていることや内定を得た学生もその企業で良いのかという「納得度」への問い直しが始まっていることを示唆します。

これらの時期ごとの悩みの変化は、就職支援で提供すべき内容とタイミングを考える上で重要なヒントとなります。学生が直面するフェーズに応じた柔軟なサポートを提供し続けることが、私たちの重要な役割となると感じます。

ジェイックのイベントに対する期待1位は「良い企業に出会いたい(88.9%)」

※複数回答可

ジェイックが開催するWeb面接会への期待について質問しました。ここでは第5位までの内容をお伝えします。

第1位	良い企業に出会いたい(88.9%) 最も多くの学生が面接会を通じて、自身の興味や能力に合致する「良い企業」との出会いを期待しています。これは、就職活動における企業探しの難しさや、まだ見ぬ優良企業への潜在的なニーズの高さを強く示しています。学生は単なる情報収集だけでなく、自身の可能性を広げるような質の高い出会いを求めていることが分かります。
第2位	面接に慣れたい(50.6%) 半数以上の学生が、面接会を「場慣れ」や「経験を積む」機会として捉えています。面接そのものへの苦手意識や経験不足が根底にあり、実践的な練習の場を求めていることが明確です。本番で自信を持って臨めるよう、心理的・技術的なサポートが求められるニーズと言えます。
第3位	緊張せずに話せるようになる(40.5%) 面接時の「緊張」は多くの学生にとって大きな課題であり、それを克服したいという強い願望が表れています。本番で本来の力を発揮できるようになりたいというニーズは、面接の練習と密接に結びついています。
第4位	今後の就活のヒントを得たい(36.0%) 面接会を通じて、自身の就職活動をより効果的に進めるための「具体的なアドバイス」や「方向性」を求めている学生が多数います。これは、学生が「次の一手」を求めていることの表れであり、具体的な次へのステップの期待が高いことを示唆します。
第5位	業界職種の方向性を定めたい(29.5%) 自身のキャリアパスが不明確な学生は、面接会を多様な業界や職種に触れる機会と捉え、自身の興味や適性を見極めたいと考えています。複数の選択肢に触れることで、就活軸の形成や再確認をしたいというニーズです。

ジェイックのイベントは就職活動で苦戦している学生や、内定に結びつかず焦りを抱える学生にとって、事前研修+面接会という実践の場で「面接経験」を積み、「自分の現在地」を知り、「次のステップへのヒント」を得られる、総合的な成長機会を提供しています。参加学生からは「新たな自分の価値観を知ることができた」「今まで見ていなかった業界に興味を持てた」という声も多く、学生の就職活動のアクションを促進し、4年生の夏以降の内定取得率向上を実現させています。具体的には、下記のようなプログラムとなっております。

「Web面接会」プログラムとは？



これまで全国176校(2025年6月時点)の大学でご活用いただいている学生の就職活動をサポートするプログラムです。本プログラムは以下の流れで進みます。

1. ガイダンス～事前研修で就活対策

就職活動に必要な知識やスキルを習得するためのガイダンスと事前研修を実施します。

2. Web面接会

書類選考なしで約10社の企業との面接会を実施し、学生に多くの出会いの場を提供します。

3. 個別アドバイザーによる支援

学生一人ひとりに専属のアドバイザーがつき、就職活動をきめ細やかにサポートします。

また、学生の問い合わせやアクションを促進するため、マーケティング手法を用いたハガキや案内メールの作成もサポートさせていただきます。貴校のご要望に合わせてプログラムをカスタマイズできますので、お気軽にご相談ください。今後のイベント開催情報もメールでも発信していきますので、ぜひQRコードよりご登録ください。

イベント情報等の
メール登録は
こちらから



最後までご覧いただき、ありがとうございました。少しでも貴校の就職支援の参考になれば幸いです。最後にアンケートのご協力をお願いいたします。今後のキャリアのミカタの参考にさせていただきます。率直なご意見をお寄せください。右のQRコード、もしくはURLからご回答をお願いいたします。

現在、多くの大学様から、就職支援のご依頼を受けております。お困りのことがございましたら、お気軽にお問い合わせください。最新情報や貴校に合わせた支援内容をご提供させていただきます。

キャリアのミカタアンケート
<https://forms.gle/DKss2TSRNTEAkVAdA>

